

諏訪の景気動向

2020年8月

(2020年7月末D・I調査)



霧ヶ峰高原(諏訪市)

《2020年8月31日》

諏訪信用金庫

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

電話 0266-23-4567(代) FAX 0266-23-8044

諏訪地方の景気動向（2020年7月調査）

「2020年7月アンケート調査および企業訪問ヒアリング調査からまとめた諏訪地方の景況」

【概況】 諏訪地方 187 社のご協力を得て行った 2020 年 7 月の「景気動向調査(DI調査)」は、回答全社の「3 ヶ月前」と比べた業況判断DIが△35.3 となった。前回調査時(2020 年 4 月末、以下同)の△49.7 から 14.4 ポイント改善した。しかし、前年同月比では前回の△54.2 から△67.9 へ悪化幅が広がった。「3 ヶ月前」と比べた製造業の業況判断DIは△43.8 で、前回の△41.5 からさらに悪化した。非製造業(商業、観光・サービス業、建設業)の同DIは△19.7 で、前回の△66.7 から改善した。「3 ヶ月後」の業況予想DIは、製造業が△23.9(前回△66.7)と改善し、非製造業も△36.3(前回△59.1)と改善して、回答全社では△28.3(前回△64.2)となった。

新型コロナウイルスの感染拡大で、観光や商業などが休業状態に追い込まれた 3 ヶ月前と比べると、回答全社の業況は改善傾向だが、前年同期比では前回から悪化幅が広がり、本格的な回復には遠い。今回は、収まりかけたように見えた感染が、再び全国的に拡大している状況となっている。しかし、3 ヶ月前ほどの自粛要請はなく、政府の観光支援事業が実施されるなど、ちぐはぐな対応もあり、先行きは依然、不透明感が強い。3 ヶ月後の予想は、前回より好転見込みの企業もあるが、このまま横ばいで推移すると見る企業が増加している。

製造業は「3 ヶ月前」との比較で業況は 14.9%の企業が好転し、58.7%の企業が悪化した。他業種がわずかながら改善傾向を見せる中で、製造業は悪化傾向が止まらず、「前年同期比」の業況判断DIでは前回の△47.5 から△71.9 と大幅に悪化した。受注状況DIも「3 ヶ月前」に比べて前回の△45.2 から今回は△51.2 に悪化し、「前年同期比」でも前回の△51.9 から△72.8 へ悪化している。収益性DIも悪化傾向に歯止めがかかっている。「仕事量が徐々に回復している」とする企業の一方で、「新型コロナウイルスの影響はこれから大きくなる」とみる企業があり、取引先企業の動向が不明確で、先行きに不安を感じる企業も多い。それでも「3 ヶ月後」の業況予想DIには好転への期待感が表れている。

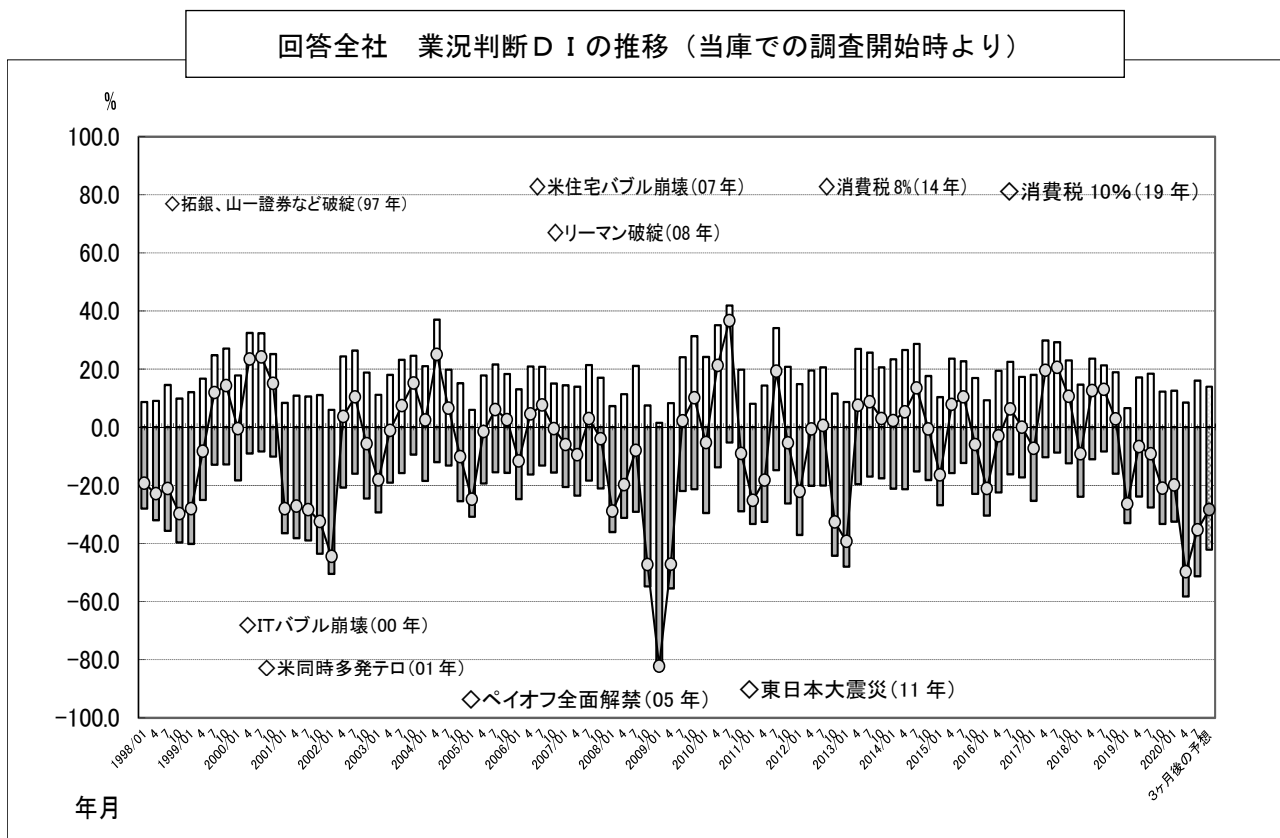
商業は、県の休業要請などで、諏訪地域の多くの商業施設、飲食店が休業や営業時間短縮の対応をした「3 ヶ月前」と比べ、業況判断DIは△34.3で前回の△77.2からは改善した。来店客数DIも前回の△74.3から△34.3と改善した。しかし、「前年同期比」では、業況判断DIが前回の△85.7 から△65.7、来店客数DIは前回の△77.1 から△62.9 へやや改善したものの、依然マイナス幅が大きく前年並みへの回復にはなっていない。コロナ禍の中で、新たな取り組みや対応によっても業績が分かれている。「3 ヶ月後」の予想は、新型コロナウイルス感染拡大の影響が継続する見込みで、業況判断DIは好転予想が8.6%、悪化予想は45.7%の△37.1で、前回の△65.7からは改善しているものの、慎重な見方が多い。

観光・サービス業は、前回「3 ヶ月前」と比べて好転や横ばいの企業がなく、悪化のみで△100 という異例の数値となった宿泊客数DIが今回、45.4 とプラスに転じている。全く動かないところから動き出したことでは好転だが、前年同期比では前回の△81.8 から今回は△100 となり、好転や横ばいの企業がない状態となっている。業況判断DIも「3 ヶ月前」との比較では前回の△90.9 から 9.1 へ改善しているが、「前年同期比」では前回の△90.9 から△100 へ悪化している。国や県の観光支援事業は一定の効果があるものの、全国の感染者数が再び増加して

おり、新型コロナウイルスの懸念がある中では、復調が難しい。「3 ヶ月後」の業況判断予想DIは△36.4 で前回の△54.5から改善しているが、横ばいとみる企業が多い。

建設業は、「3 ヶ月前」と比べた業況判断DIは△10.0 で前回の△35.0 から改善した。受注状況DIは△20.0 で前回の△40.0からやや改善している。「3 ヶ月後」の業況判断DIは△35.0で、前回の△50.0から改善した。諏訪地方の2020年6月の新設住宅着工戸数は197戸で、前年同月比94戸増加(91.3%)した。2020年4月～6月の累計着工戸数は322戸で、前年同期比24戸減少(△6.9%)した。2020年7月の市町村からの受注工事は合計96件3,017百万円で、前年同月比で件数は2件増加し、契約金額は1,335百万円減少した。2020年4月～7月に地元業者が受注した国県関係の公共工事の累計は51件2,617百万円で、前年同期より5件126百万円減少(△4.6%)している。

雇用状況は、2020年6月の諏訪地方の有効求人倍率が、前年同月を0.49ポイント下回り、前月を0.05ポイント下回る1.05倍だった。15ヵ月連続で前年同月を下回った。1倍台の維持は75ヵ月連続となっている。長野県内は1.03倍で、約6年ぶりに1.1倍を割り込んだ。全国は1.11倍だった。諏訪地方は、新規求人数(全数)が1,248人で前年同月比286人減少(△18.6%)し、新規求職者数は819人で前年同月比176人増加(27.4%)している。産業別の前年同月比の新規求人数は、医療・福祉業で8.2%増加したが、生活関連サービス・娯楽業で61.2%減少した。1件10人以上の人員整理は1件だった。事業主都合による雇用保険資格喪失者は80人で、前年同月より32人増加し、前月より37人増加した。



新型コロナウイルス感染拡大の諏訪地方への影響

新型コロナウイルス感染拡大の影響は依然、諏訪地方の企業に大きな影響を及ぼしている。回答全社は「3ヶ月前」に比べ、93%の企業が「多大」または「多少」の影響とした。前回 90.9%が「多大」な影響とした観光・サービス業は今回、100%となった。6月19日に移動自粛要請が解除され、高速道路の週末割引が再開し、「Go To トラベル」などの施策もあり回復が期待されたが、7月初旬から全国的に再び感染が拡大し水を差された。製造業は「多大」な影響とする企業が、前回の34.1%から57.0%に増加した。商業と建設業は「多大」が減少し「多少」が増加した。「3ヶ月後」の予想では、「多大」とする企業は観光・サービス業が90.9%、製造業が52.9%、商業は54.3%、建設業20.0%となり、回答全社では51.9%となっている。「これまでグローバル化に進んできたが、コロナは結びつきを見直す契機。地元企業を大切にしたい経営も必要では」という声がある。

産業別業況表

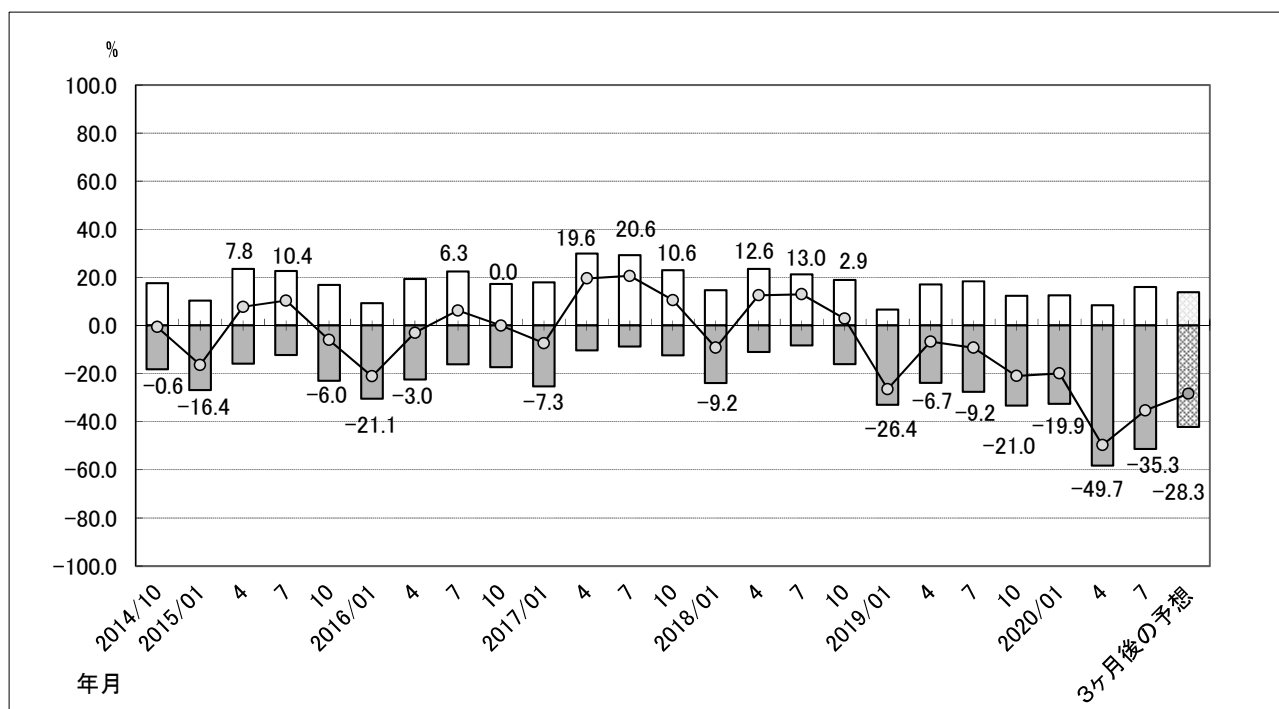
(企業数・%) 表-1

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
全体	187	16.0	32.6	51.3	-35.3	187	7.0	18.2	74.9	-67.9	187	13.9	43.9	42.2	-28.3
製造業	121	14.9	26.4	58.7	-43.8	121	6.6	14.9	78.5	-71.9	121	17.4	41.3	41.3	-23.9
非製造業	66	18.2	43.9	37.9	-19.7	66	7.6	24.2	68.2	-60.6	66	7.6	48.5	43.9	-36.3
商業	35	17.1	31.4	51.4	-34.3	35	11.4	11.4	77.1	-65.7	35	8.6	45.7	45.7	-37.1
建設業	20	10.0	70.0	20.0	-10.0	20	5.0	60.0	35.0	-30.0	20	5.0	55.0	40.0	-35.0
観光・サービス	11	36.4	36.4	27.3	9.1	11	0.0	0.0	100	-100	11	9.1	45.5	45.5	-36.4

自社業況判断DIの推移

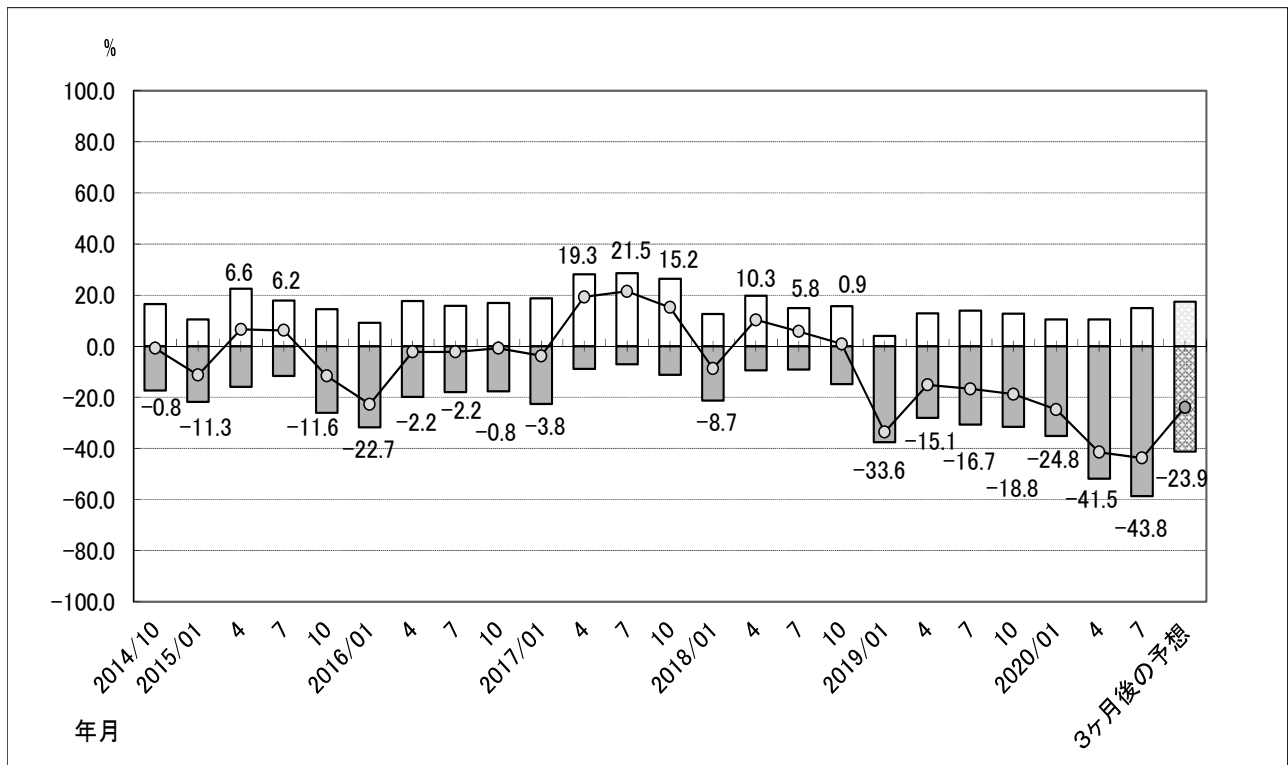
回答全社:「3ヶ月前」と比べて業況判断DIの推移

グラフ-1



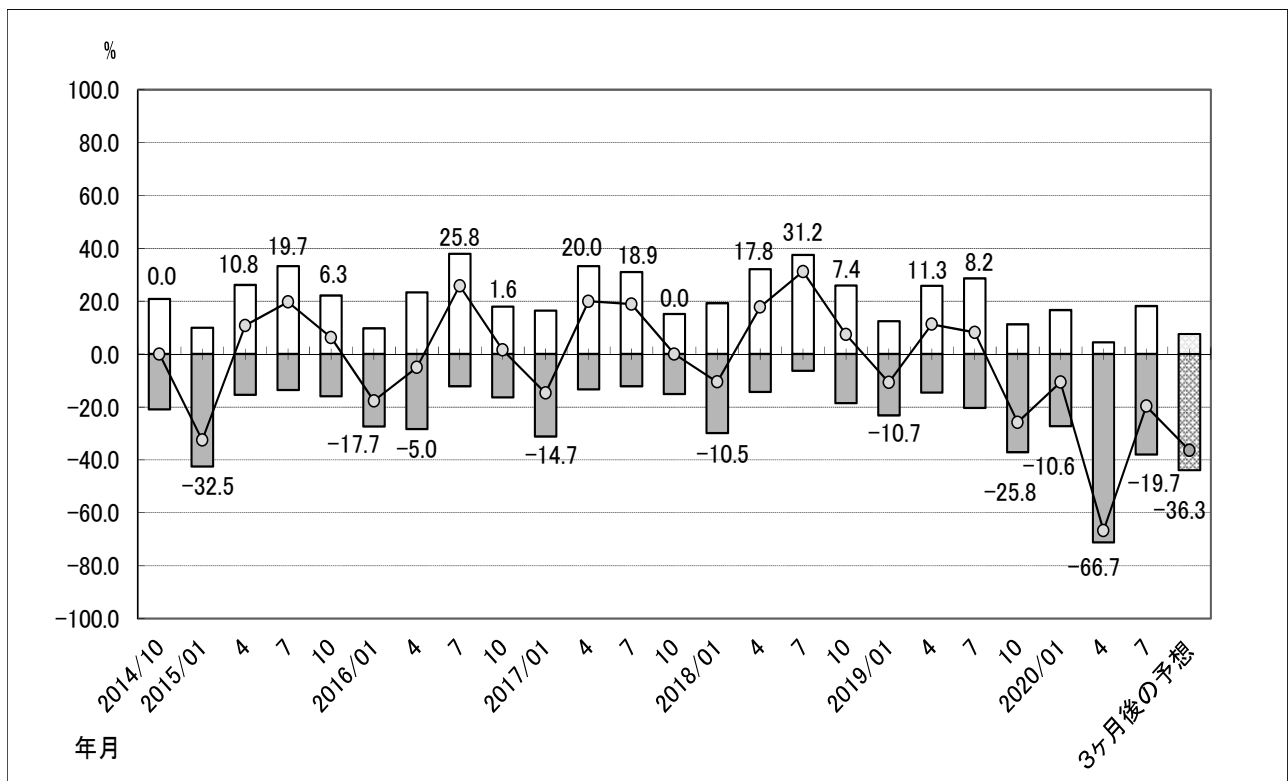
●製造業：「3ヵ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフー2



●非製造業：「3ヵ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフー3



産業別景気動向

1. 製造業

業況判断DIは「3ヵ月前」と比べ△43.8で、前回の△41.5から悪化した。さらに「前年同期比」は、△71.9で前回の△47.5から悪化幅が広がっている。一方、「3ヵ月後」の予想は△23.9で、前回の△66.7から大幅に改善した。

設備投資DIは、「3ヵ月前」に比べて△12.4で前回の△0.7から悪化した。「前年同期比」も前回の0.7から△14.9へ悪化し、マイナス水準となった。新型コロナウイルスの影響が不透明で、「3ヵ月後」の予想DIも△14.9で、前回の△9.7から悪化幅が広がっている。

収益性DIは、「3ヵ月前比」で△43.0と前回の△38.5から4.5ポイント悪化し、「前年同期比」は前回の△45.9から△61.9～16.0ポイント悪化した。一方、「3ヵ月後」の予想は△23.2で、前回の△61.5から改善した。

業種別(主要5業種)の業況判断DIは「3ヵ月前」と比べて、「金属製品」は△59.4(前回△47.2)、「電気機械」が△36.3(同△28.0)、「一般機械」が△36.7(同△16.6)、「輸送用機械」は△50.0(同△40.0)と悪化し、「精密機械」が△50.0(同△76.9)とやや改善した。

「前年同期比」では、全て前回より悪化し、「金属製品」が△87.5(同△47.3)、「電気機械」は△63.7(同△36.0)、「一般機械」は△40.0(同△33.3)で、「精密機械」は好転企業がなく△100(同△84.6)、「輸送用機械」も△100(同△46.6)となった。

「3ヵ月後」の予想DIは「金属製品」は△9.3(同△69.4)、「輸送用機械」が33.4(同△80.0)、「一般機械」は△43.3(同△63.4)、精密機械も△25.0(同△76.9)、「電気機械」が△40.9(前回△44.0)と、すべての業種で改善が見込まれている。

新型コロナウイルスの影響は重く「出口が見えず、好転の兆しが無い」「体力勝負になり、いつまで続くか。そして耐えられるか」という声がある。

製造業 業種別・規模別の自社業況表

表-2

	3ヵ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヵ月後の予想					
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	
製造業	121	14.9	26.4	58.7	-43.8	121	6.6	14.9	78.5	-71.9	121	17.4	41.3	41.3	-23.9	
規模	1～29人	71	14.1	31.0	54.9	-40.8	71	4.2	16.9	78.9	-74.7	71	15.5	46.5	38.0	-22.5
	30～99人	37	16.2	16.2	67.6	-51.4	37	10.8	8.1	81.1	-70.3	37	13.5	29.7	56.8	-43.3
	100人～	13	15.4	30.8	53.8	-38.4	13	7.7	23.1	69.2	-61.5	13	38.5	46.2	15.4	23.1
分類	金属製品製造業	32	12.5	15.6	71.9	-59.4	32	3.1	6.3	90.6	-87.5	32	18.8	53.1	28.1	-9.3
	一般機械器具製造業	30	10.0	43.3	46.7	-36.7	30	16.7	26.7	56.7	-40.0	30	10.0	36.7	53.3	-43.3
	電気機械器具製造業	22	18.2	27.3	54.5	-36.3	22	4.5	27.3	68.2	-63.7	22	13.6	31.8	54.5	-40.9
	輸送用機械器具製造業	12	16.7	16.7	66.7	-50.0	12	0.0	0.0	100	-100	12	41.7	50.0	8.3	33.4
	精密機械器具製造業	12	16.7	16.7	66.7	-50.0	12	0.0	0.0	100	-100	12	25.0	25.0	50.0	-25.0

① 諏訪地方製造品出荷額の70%を占める中分類5業種の業況

● 金属製品(プレス、メッキ、熱処理など)

業況判断DIは「3ヵ月前」と比べ $\Delta 59.4$ で、前回調査時の $\Delta 47.2$ から悪化した。「前年同期比」も $\Delta 87.5$ で前回の $\Delta 47.3$ より悪化した。3ヵ月後の予想は $\Delta 9.3$ で前回の $\Delta 69.4$ から大幅に改善した。半導体、産業用機械関連は安定している。自動車部品関連の受注は、止まったままの企業から8割程度まで戻った企業などメーカーによってまちまち。

● 一般機械(工作機械、専用機械、省力機械、検査機械など)

業況判断DIは「3ヵ月前」と比べて $\Delta 36.7$ で、前回の $\Delta 16.6$ から悪化し、「前年同期比」も $\Delta 40.0$ で、前回の $\Delta 33.3$ から悪化した。3ヵ月後の予想は $\Delta 43.3$ で、前回の $\Delta 63.4$ からやや改善している。5G対応関連の半導体製造装置部品や物流関連の省力化機械は好調だが、新型コロナウイルスの影響で設備投資を見送る企業が増え、予定案件の先延ばしや見直しがある。工作機械は自動車部品関連の動きが鈍く、受注残が減少している。

● 電気機械(家電、パソコン、情報機器、電子デバイス、デジタルカメラなど)

業況判断DIは「3ヵ月前」と比べて $\Delta 36.3$ で、前回の $\Delta 28.0$ から悪化し、「前年同期比」は $\Delta 63.7$ で前回の $\Delta 36.0$ から悪化した。3ヵ月後の予想は $\Delta 40.9$ で前回の $\Delta 44.0$ からやや改善した。電子部品の受注は用途によって明暗がある。世界的に自動車販売が落ち込んだ車載部品が苦戦する反面、新型コロナウイルスの影響による巣ごもり需要でタブレットやパソコン向けは好調に推移している。

● 輸送用機械(自動車関連、ピストンリング、船外機、航空機部品など)

業況判断DIは「3ヵ月前」と比べて $\Delta 50.0$ で、前回の $\Delta 40.0$ から悪化し、「前年同期比」は好転企業がなく $\Delta 100$ で、前回の $\Delta 46.6$ から悪化した。一方、3ヵ月後の予想は悪化予想が減少して好転予想が増え、 33.4 とプラス水準で、前回の $\Delta 80.0$ から大幅に改善している。自動車部品関連はメーカーによってまちまちだが、全体的にまだ動きは鈍く、本来の動きにはなっていない。その中で一部メーカーは年末までの回復見込みを示している。

● 精密機械(時計、カメラ、光学機器、計量器、医療機器など)

業況判断DIは「3ヵ月前」と比べて $\Delta 50.0$ で、前回の $\Delta 76.9$ からやや改善したが、「前年同期比」は好転企業がなく $\Delta 100$ で前回の $\Delta 84.6$ より悪化した。3ヵ月後の予想は $\Delta 25.0$ で前回の $\Delta 76.9$ より改善した。スマホや携帯などのレンズは苦戦しているが、ATM 監視カメラなどの高性能レンズの受注が旺盛。感度センサーも好調に推移している。

② 規模別業況

業況判断DIは、「3ヵ月前」と比べて「1~29人」規模は前回の $\Delta 44.7$ から $\Delta 40.8$ へやや改善し、「30~99人」規模は前回の $\Delta 29.6$ から $\Delta 51.4$ へ悪化した。「100人以上」規模は前回の $\Delta 60.0$ から $\Delta 38.4$ へ改

善した。「前年同期比」は「1～29人」規模が前回の△57.9から△74.7へ悪化し、「30～99人」規模も前回の△27.3から△70.3へ大幅悪化した。「100人以上」規模も、前回の△53.3から△61.5へ悪化した。一方、「3ヵ月後」の予想は、「1～29人」規模が前回の△71.1から△22.5へ改善し、「30～99人」規模は前回の△59.1から△43.3へ改善した。「100人以上」規模は前回の△66.6から23.1へ改善した。

③受注状況DI(規模別、業種別)

製造業全社の「3ヵ月前」と比べて受注状況DIは「増加」企業 14.9%、「減少」企業 66.1%で△51.2と、前回調査時の△45.2から悪化した。「前年同期比」も△72.8で前回の△51.9から悪化した。「3ヵ月後」の予想は前回の△66.7から△24.0へ改善した。

規模別の受注状況DIは、「3ヵ月前」と比べて「1～29人企業」は△53.5で前回の△46.1から悪化し、「30～99人企業」も△46.0で前回の△34.0から悪化した。「100人以上企業」は△53.8で前回の△73.3からやや改善した。「前年同期比」は「1～29人企業」が△73.3で前回の△63.2から悪化し、「30～99人企業」は△73.0で前回の△29.5から悪化した。「100人以上企業」も△69.2で前回の△60.0から悪化した。「3ヵ月後」の予想は「1～29人企業」が△18.3で前回の△68.4から改善し、「30～99人企業」も△54.1で前回の△63.7から改善し、「100人以上企業」は30.8で前回の△66.6から改善しプラス水準となった。

業種別(主要5業種)の「3ヵ月前比」は、「精密機械」が△92.3から△66.7へ改善したが、「輸送用機械」が前回の△26.7から△50.0、「電気機械」は△36.0から△45.4、「一般機械」は△26.7から△46.7、「金属製品」が△47.3から△65.6へ悪化した。「前年同期比」では、「輸送用機械」が△53.3から△100、「精密機械」は△69.2から△75.0、「金属製品」が△58.3から△90.6、「電気機械」は△36.0から△68.2、「一般機械」は△46.7から△53.3へそれぞれ悪化した。反面、「3ヵ月後」の予想は「金属製品」は前回の△72.2から△9.4、「輸送用機械」は△73.3から41.7、「一般機械」が△63.4から△50.0、「電気機械」が△44.0から△36.4、「精密機械」は△92.3から△25.0へいずれも改善した。

業種別・規模別受注状況表

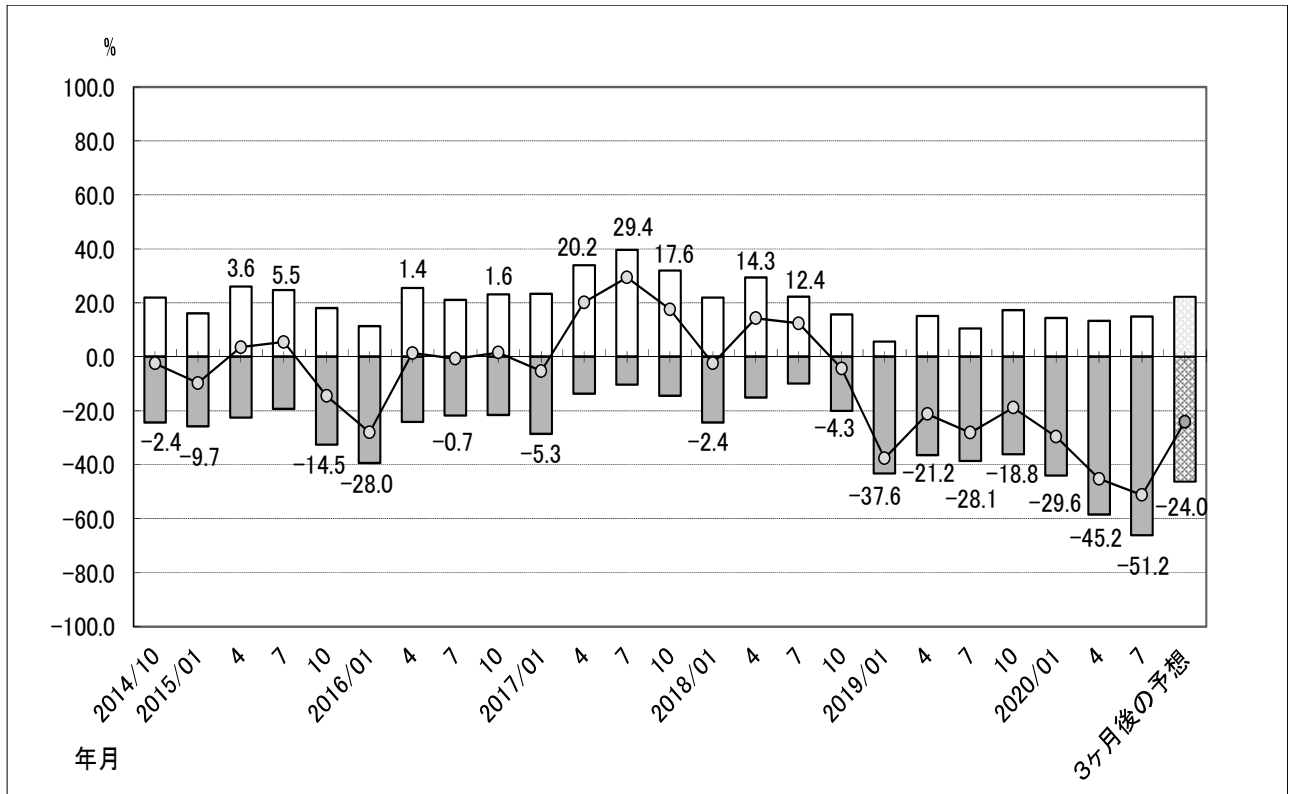
表-3

	3ヵ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヵ月後の予想					
	回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI	
製造業	121	14.9	19.0	66.1	-51.2	121	7.4	12.4	80.2	-72.8	121	22.3	31.4	46.3	-24.0	
規模	1～29人	71	11.3	23.9	64.8	-53.5	71	5.6	15.5	78.9	-73.3	71	25.4	31.0	43.7	-18.3
	30～99人	37	21.6	10.8	67.6	-46.0	37	10.8	5.4	83.8	-73.0	37	8.1	29.7	62.2	-54.1
	100人～	13	15.4	15.4	69.2	-53.8	13	7.7	15.4	76.9	-69.2	13	46.2	38.5	15.4	30.8
分類	金属製品製造業	32	12.5	9.4	78.1	-65.6	32	0.0	9.4	90.6	-90.6	32	28.1	34.4	37.5	-9.4
	一般機械器具製造業	30	13.3	26.7	60.0	-46.7	30	16.7	13.3	70.0	-53.3	30	10.0	30.0	60.0	-50.0
	電気機械器具製造業	22	18.2	18.2	63.6	-45.4	22	4.5	22.7	72.7	-68.2	22	22.7	18.2	59.1	-36.4
	輸送用機械器具製造業	12	16.7	16.7	66.7	-50.0	12	0.0	0.0	100	-100	12	50.0	41.7	8.3	41.7
	精密機械器具製造業	12	8.3	16.7	75.0	-66.7	12	8.3	8.3	83.3	-75.0	12	25.0	25.0	50.0	-25.0

製造業の受注状況DIの推移

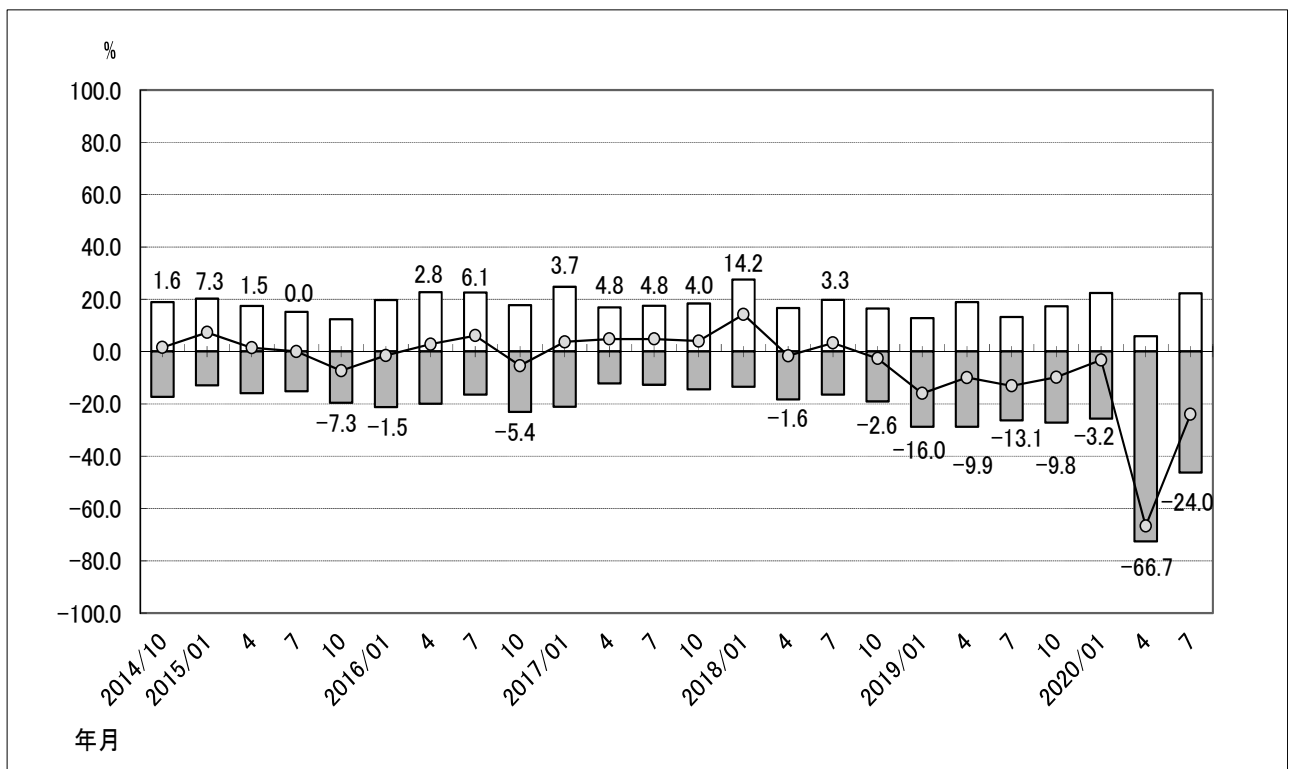
●製造業全社:「3ヵ月前」と比べた受注状況DIの推移

グラフー4



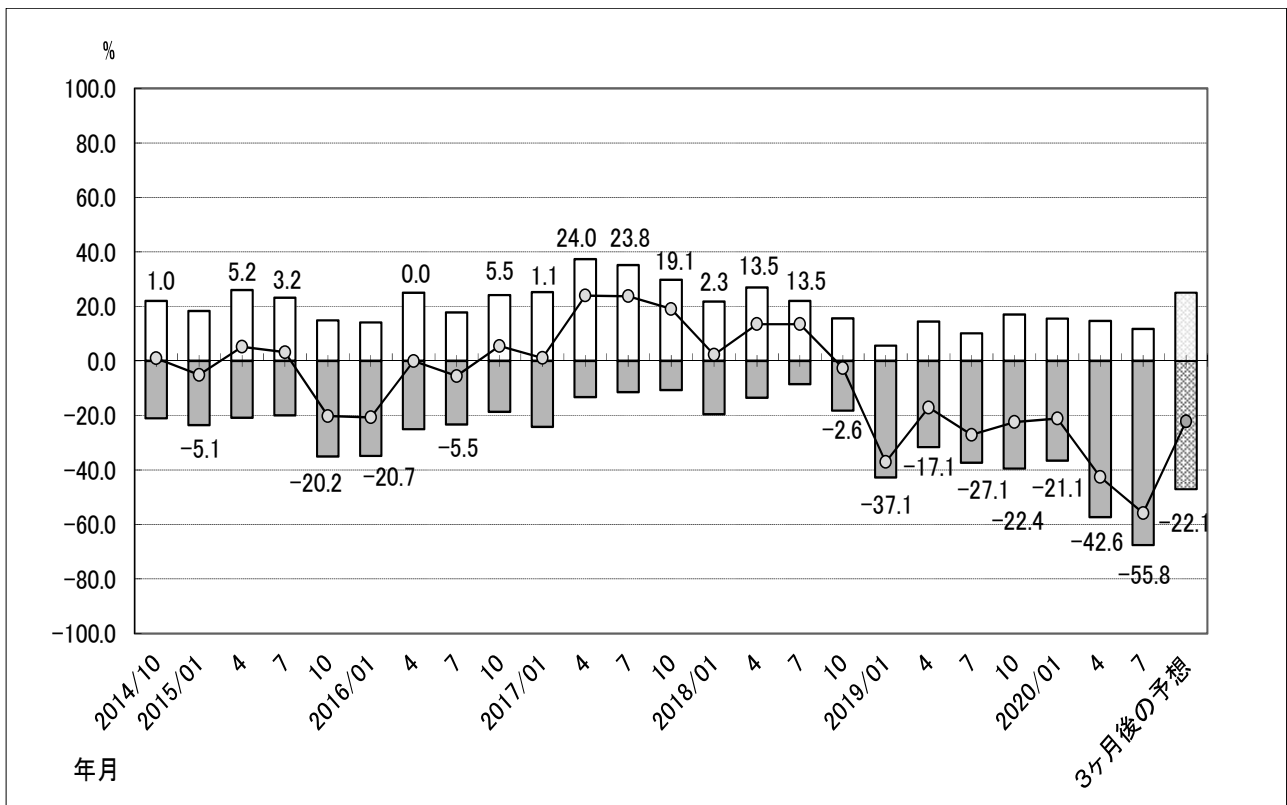
●製造業全社:「3ヵ月後」の受注予想DIの推移

グラフー5



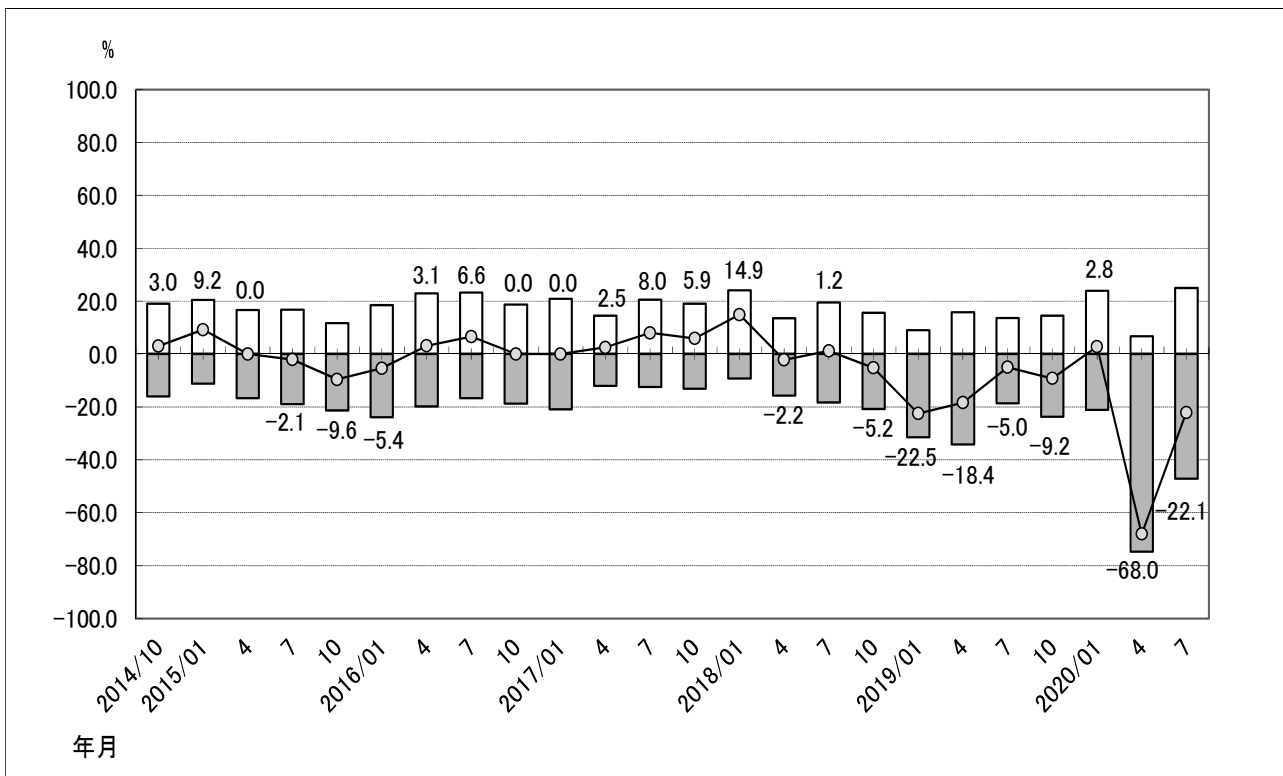
●製造業 主要5業種:「3ヵ月前」と比べた受注状況DIの推移

グラフー6



●製造業 主要5業種:「3ヵ月後」の受注予想DIの推移

グラフー7



2. 商業・観光サービス業

① 商業

「3ヵ月前」との比較で、売上DIは△42.9と、前回の△77.2からやや改善した。夏の恒例行事が相次いで中止となり、人の移動に関連する業種が苦戦する一方で、外出自粛に伴うステイホームで必要になる生活物資や在宅使用機材の需要が高まった。

- 家電 在宅勤務の広がりなどでパソコン、プリンターの需要は高いが、メーカー側の生産が追いついていない。長雨の影響で、冷房機器の売上は伸びなかった。
- 自動車 諏訪地方の7月の車庫証明件数(軽自動車除く)が967件で、前年同月比では122件減少(△11.2%)した。
- 書店 コロナ禍のステイホームの動きに加え、長雨の影響で来店者が増加した。一方、月刊誌の出版見送りやコミック作家休業による新刊の遅れが懸念される。
- 飲食店 夏休みの短縮や帰省客の減少などの影響が顕著。感染再拡大で来店客の増加は厳しい。
- コンビニ 夏祭りや高校野球の中止、長雨による外出控えなどの影響があった。
- 靴店 遠方へ出かけないため、レジャー用ウォーキングシューズの売れ行きが鈍った。
- 野菜直売所 長雨の影響で野菜の仕入れ価格が高騰し、来店客数も減少した。

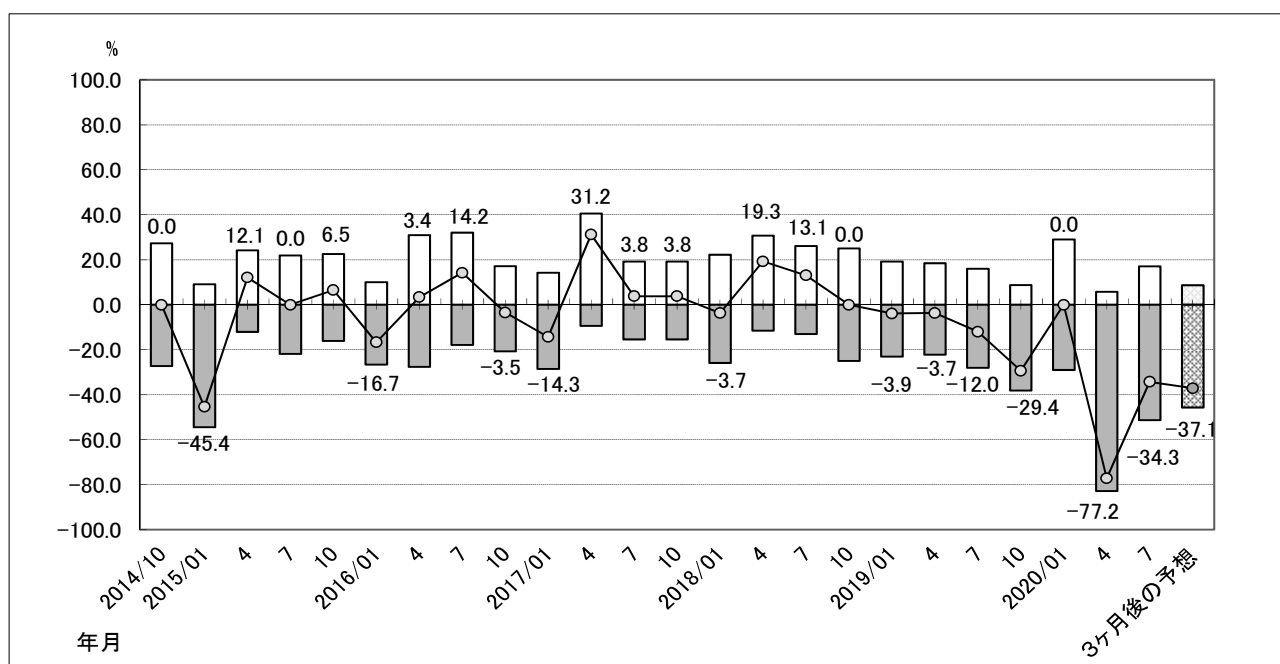
業況、客単価、来店客数

表-4

	3ヵ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヵ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	35	17.1	31.4	51.4	-34.3	35	11.4	11.4	77.1	-65.7	35	8.6	45.7	45.7	-37.1
客単価	35	17.1	45.7	37.1	-20.0	35	14.3	34.3	51.4	-37.1	35	14.3	54.3	31.4	-17.1
来店客数	35	14.3	37.1	48.6	-34.3	35	5.7	25.7	68.6	-62.9	35	11.4	40.0	48.6	-37.2

●商業全社:「3ヵ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-8



② 観光・サービス業

本格的な観光シーズンが到来しているにもかかわらず、「前年同期比」で業況判断DIが悪化企業のみという異例の状態となっている。「第2波」の感染拡大で新型コロナウイルスに対する警戒感が再び強まり、政府の観光支援事業「Go To トラベル」は東京都の除外などで、諏訪地方の各宿泊施設ではキャンセルが続出した。コロナ禍は1企業の努力では乗り越えることが困難で、地域連携した観光振興が必要とする声が上がっている。

- 上諏訪温泉 施設によって、宿泊客数の確保に差が見られる。「ディスカバー信州県民応援割」で回復傾向の施設がある一方で、観光バスが稼働しないため、比較的大きい施設が苦戦している。
- 下諏訪温泉 小規模旅館は、コロナ禍でも家族連れや小規模グループでの利用がある。
- 蓼科・白樺湖 コロナ禍で学生の合宿予約は、すべてキャンセルとなった。「Go To トラベル」の東京除外に伴うキャンセルはあるが、代わりに県内の一見客利用が増加している。また、道の駅「ピーナライン蓼科湖」がオープンし、集客の回復が期待されている。
- 諏訪大社 上社・下社合わせた7月の参拝者数は約4万3千人で、前年同月比約2千人減少(△32.1%)した。

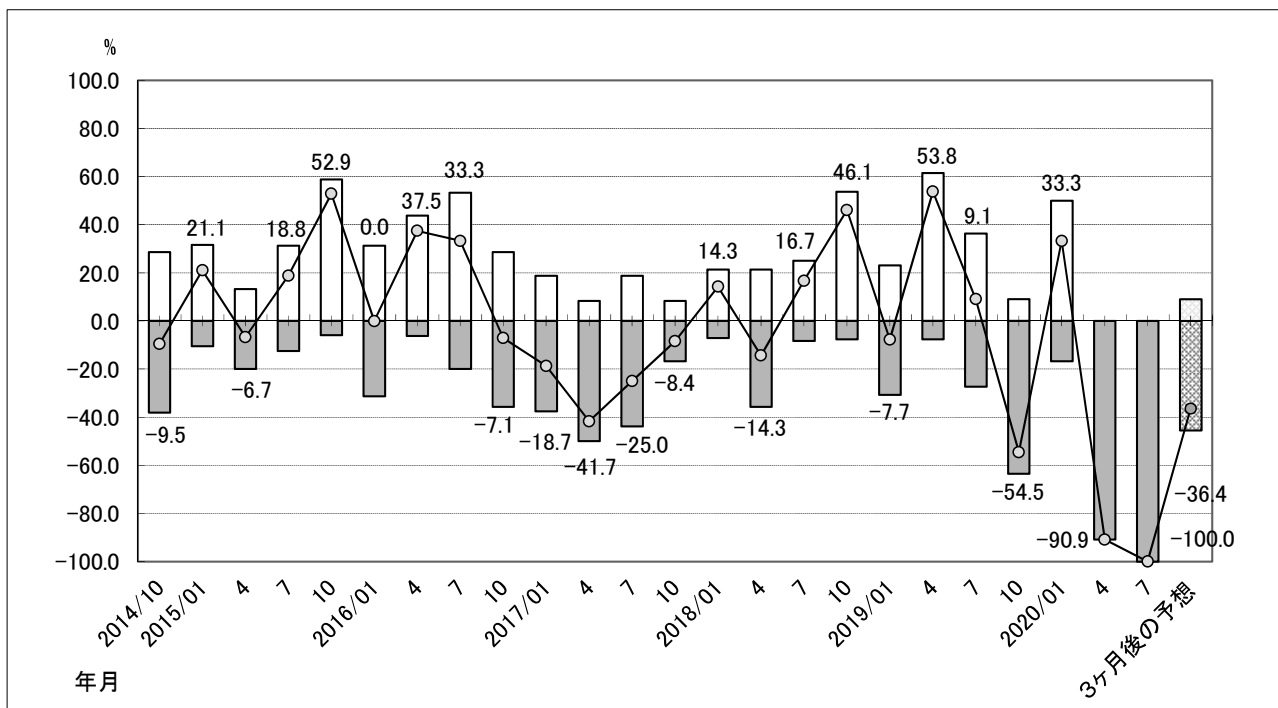
業況、売上、宿泊客

表-5

	3か月前と比べて					前年同期と比べて					3か月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	11	36.4	36.4	27.3	9.1	11	0.0	0.0	100	-100	11	9.1	45.5	45.5	-36.4
客単価	11	18.2	72.7	9.1	9.1	11	9.1	45.5	45.5	-36.4	11	9.1	63.6	27.3	-18.2
宿泊客数	11	63.6	18.2	18.2	45.4	11	0.0	0.0	100	-100	11	9.1	27.3	63.6	-54.5

●観光・サービス業全社:「前年同期」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-9



3.建設業

受注状況DIは「3ヵ月前」と比べ、前回の△40.0から△20.0へ改善しているが、「前年同期比」では、前回の△25.0から△50.0へ悪化している。外注発注量DIは「3ヵ月前」と比べ、△40.0から△30.0へ改善している。「3ヵ月後」の予想DIは、受注状況が△50.0で前回の△65.0から改善し、業況判断も△35.0で前回の△50.0から改善した。諏訪地方の2020年4月～6月の新設住宅着工戸数は持家162戸、貸家28戸、分譲15戸、給与117戸で合計322戸となり、前年同期比で24戸、6.9%減少した。

●建築工事

諏訪地方の2020年6月の各市町村の新設住宅着工戸数は岡谷市21戸、諏訪市21戸、茅野市141戸、諏訪郡14戸の合計197戸だった。長野県全体の6月の新設住宅着工戸数は1,372戸で、前年同月比12.8%増加した。持家は9ヵ月連続、分譲は4ヵ月連続の減少で、貸家は3ヵ月ぶりに増加した。

●公共工事

2020年7月に地元業者が受注した国県関係の公共工事は、32件1,696百万円だった。また、市町村からの受注工事は、建築工事9件1,936百万円、土木・水道工事59件901百万円、その他工事28件179百万円だった。

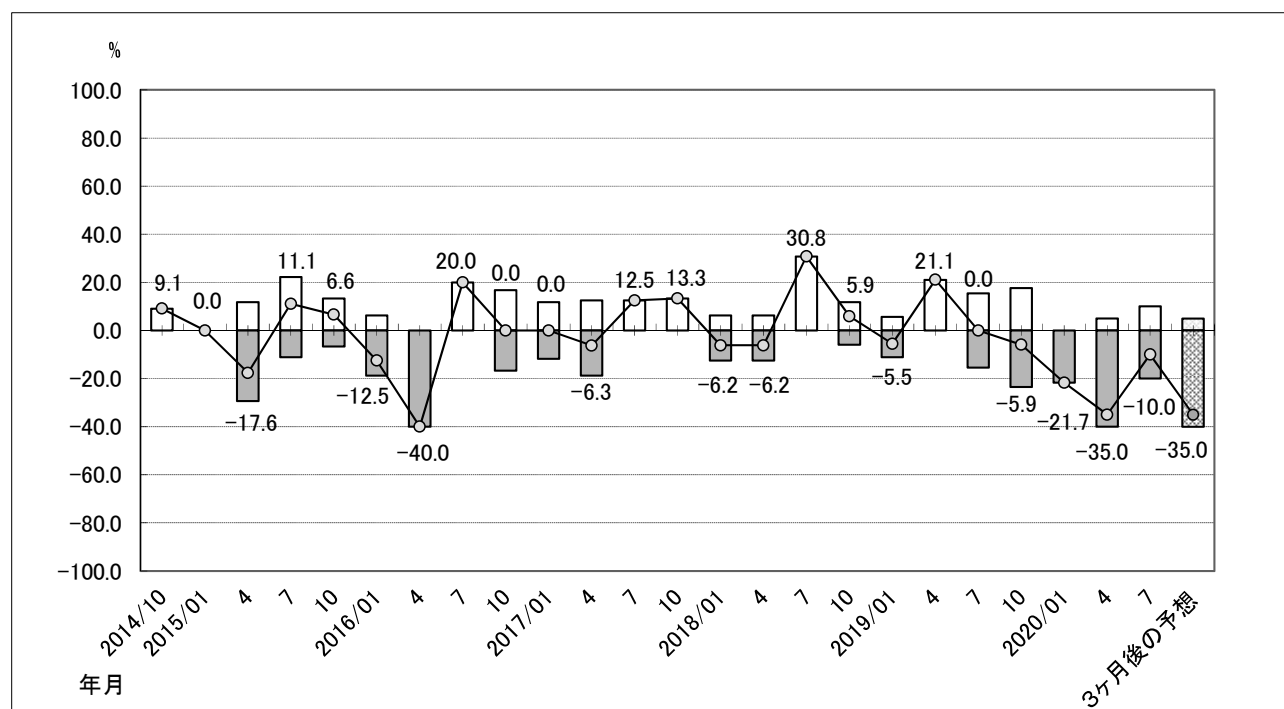
業況、受注状況、外注発注量

表-6

	3ヵ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヵ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	20	10.0	70.0	20.0	-10.0	20	5.0	60.0	35.0	-30.0	20	5.0	55.0	40.0	-35.0
受注状況	20	15.0	50.0	35.0	-20.0	20	0.0	50.0	50.0	-50.0	20	5.0	40.0	55.0	-50.0
外注発注量	20	10.0	50.0	40.0	-30.0	20	10.0	50.0	40.0	-30.0	20	10.0	55.0	35.0	-25.0

●建設業全社:「3ヵ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-10

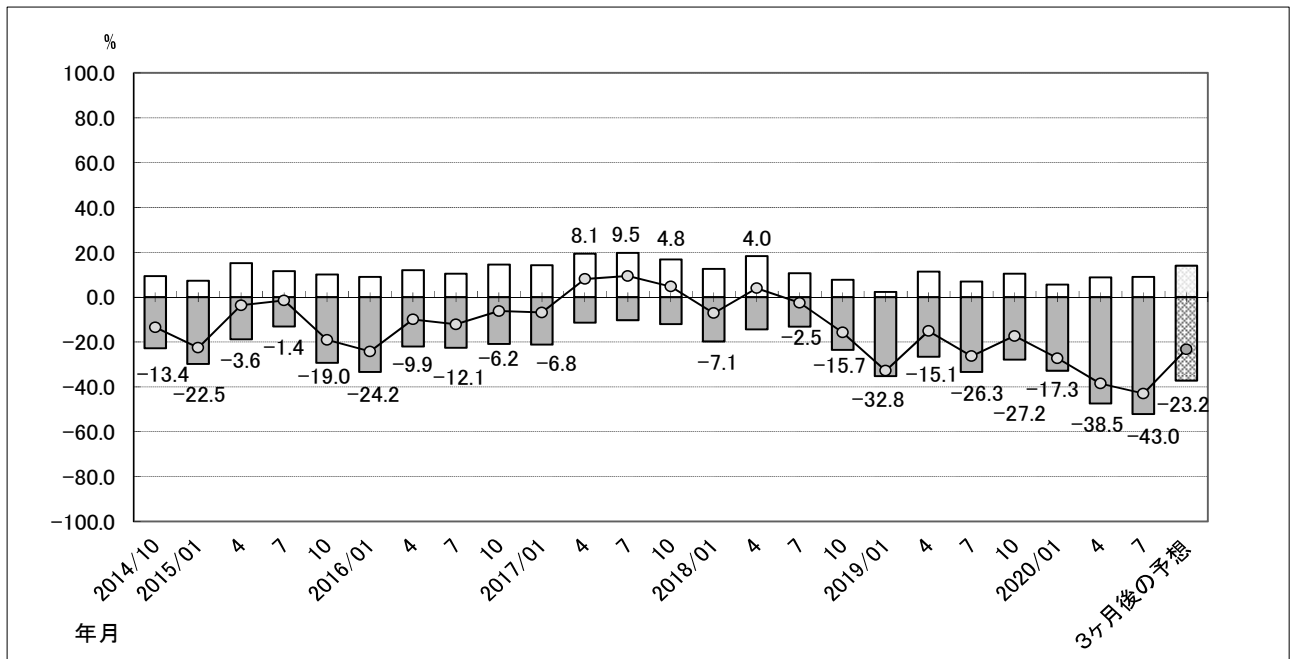


4.収益性状況

回答全社の「3ヵ月前」と比べた収益性は「好転」企業10.2%、「悪化」企業48.1%で、同DIは△37.9と前回調査時の△45.2から改善した。製造業は△43.0で前回の△38.5から4.5ポイント悪化した。非製造業が△28.8で前回の△59.1から30.3ポイント改善している。一方、回答全社の「前年同期比」は△58.8で、前回の△50.7より悪化している。「3ヵ月後」の予想DIは、製造業が△23.2で前回の△61.5から改善し、非製造業も△37.9で前回の△63.7から改善している。回答全社では△28.3となり、前回の△62.2から改善予想が多くなっている。

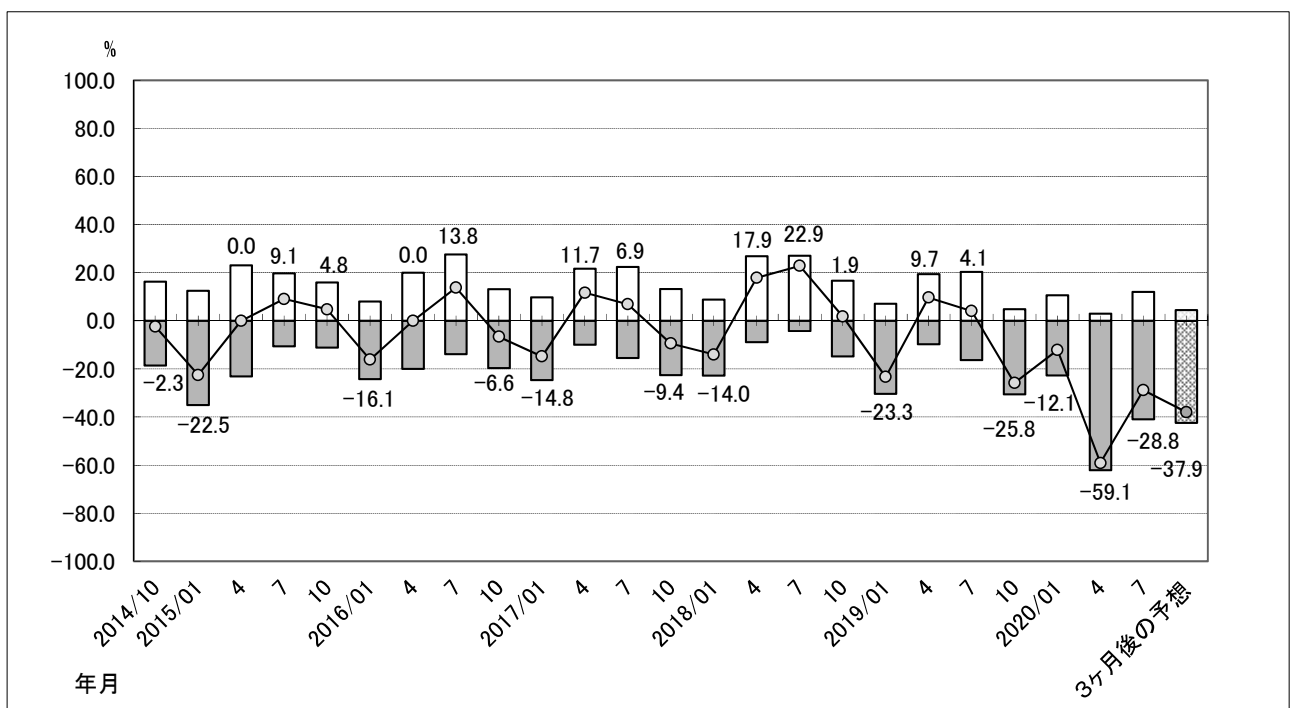
●製造業:3ヵ月前と比べた収益性DI

グラフー11



●非製造業:3ヵ月前と比べた収益性DI

グラフー12



5.経営上の課題

経営上の課題として①製造業は売上減少と資金繰り②商業は売上減少と労働力確保③建設業は売上減少と労働力確保④観光・サービス業は売上減少と資金繰り、人件費となっている。

経営上の課題	合計	製造業	商業	建設業	観光・サービス業
売上減少	143	99	24	11	9
単価引下げ	17	15	2	0	0
競争激化	45	27	11	7	0
資金繰り	57	36	9	6	6
人件費	48	26	13	3	6
労働力確保	42	11	16	14	1

6.諏訪地方主要経済指標

主要指標		実数	前年同期比
有効求人倍率【6月】	ハローワーク諏訪	1.05 倍	△0.49 ポイント
手形交換高【7月】 (諏訪手形交換所扱)	枚数	3,503 枚	△1,627 枚
	金額	4,746 百万円	△1,807 百万円
	うち不渡り 発生状況	枚数	0 枚
	金額	0 千円	0 千円
車庫証明取扱件数【7月】(諏訪地方合計)		967 件	△11.2 %
新設住宅着工戸数【2020年4月～6月】(諏訪管内)		322 戸	△6.9 %

7.調査概要

DI調査:業況などが「好転」と答えた企業割合から「悪化」と答えた企業割合を引いた数値。

- ① 調査期間 2020年7月。
- ② 調査内容 「2020年7月時点」の実績と、「3ヵ月前」と「前年同期」の業績比較および「3ヵ月後」の予想。
- ③ 調査方法 DI調査および約130社のヒアリング調査。
- ④ 回答企業数 187企業。
- ⑤ 回答率 74.8%。

DI調査状況

	製造業	商業	建設業	観光・サービス業	合計
依頼数	160	40	30	20	250
回答数	121	35	20	11	187

「諏訪の景気動向」についてのご意見、ご要望は
諏訪信用金庫 総務部へ
電話 0266-23-4567